

危機管理連絡会議

日 時：平成 26 年 6 月 2 日（月） 15 時 00 分から

場 所：県庁 4 階 405 会議室

協議事項

- 熱中症対策について
- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の注意喚起について

都道府県別熱中症による救急搬送状況

平成26年5月19日～5月25日(速報値)

都道府県		平成26年5月19日～5月25日(速報値)											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	青森県	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2
3	岩手県	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
4	宮城県	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
5	秋田県	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
6	山形県	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2	0	2
7	福島県	0	0	2	2	2	6	0	1	1	4	0	6
8	茨城県	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2
9	栃木県	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2
10	群馬県	0	1	0	7	5	13	0	1	2	10	0	13
11	埼玉県	0	0	6	3	15	24	0	0	4	20	0	24
12	千葉県	0	1	4	2	3	10	0	0	4	6	0	10
13	東京都	0	0	6	3	7	16	0	0	6	10	0	16
14	神奈川県	0	0	3	0	1	4	0	0	1	3	0	4
15	新潟県	0	2	1	4	5	12	0	0	3	9	0	12
16	富山県	0	0	0	1	2	3	0	0	2	1	0	3
17	石川県	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
18	福井県	0	0	1	2	2	5	0	0	0	5	0	5
19	山梨県	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
20	長野県	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	2
21	岐阜県	0	0	1	1	1	3	0	0	3	0	0	3
22	静岡県	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	2
23	愛知県	0	0	2	7	12	21	0	0	0	21	0	21
24	三重県	0	1	0	1	1	3	0	0	0	2	1	3
25	滋賀県	0	0	1	2	3	6	0	0	0	6	0	6
26	京都府	0	0	0	0	5	5	0	0	1	4	0	5
27	大阪府	0	0	4	4	4	12	0	0	2	10	0	12
28	兵庫県	0	0	3	3	5	11	0	0	0	11	0	11
29	奈良県	0	0	1	2	0	3	0	0	0	3	0	3
30	和歌山県	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4	0	4
31	鳥取県	0	0	0	0	4	4	0	0	1	3	0	4
32	島根県	0	1	0	3	3	7	0	0	2	5	0	7
33	岡山県	0	1	2	4	14	21	0	0	4	16	1	21
34	広島県	0	0	0	2	4	6	0	0	2	4	0	6
35	山口県	0	0	1	1	3	5	0	0	1	4	0	5
36	徳島県	0	0	2	0	1	3	0	0	1	2	0	3
37	香川県	0	0	0	2	2	4	0	1	3	0	0	4
38	愛媛県	0	0	0	5	1	6	0	0	0	6	0	6
39	高知県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
40	福岡県	0	1	4	7	8	20	0	0	13	7	0	20
41	佐賀県	0	0	0	2	1	3	0	0	1	2	0	3
42	長崎県	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	2
43	熊本県	0	0	0	1	2	3	0	0	1	2	0	3
44	大分県	0	0	2	2	6	10	0	0	5	5	0	10
45	宮崎県	0	0	1	2	1	4	0	0	4	0	0	4
46	鹿児島県	0	0	2	2	2	6	0	0	1	5	0	6
47	沖縄県	0	0	0	6	2	8	0	0	2	5	1	8
合計【人】		0	8	49	89	145	291	0	3	75	210	3	291
割合		0.0%	2.7%	16.8%	30.6%	49.8%	100.0%	0.0%	1.0%	25.8%	72.2%	1.0%	100.0%

* 救急搬送状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも速報値です。後日修正されることもありますのでご了承ください。

* 速報値とは、最新1週間のデータのことです。

熱中症に注意しましょう

2014年5月12日

熱中症が心配な季節です。

早めに、しっかり予防を！

---子ども、高齢者は特に注意！！---

☆徳島県の現在の暑さ指数及び今後の暑さ指数予報はこちら☆

☆【総務省消防庁】熱中症搬送状況(都道府県別)等はこちら☆

※暑さ指数とは、熱中症の発生しやすさとの関係がわかりやすい指標として、労働環境、運動時における熱中症予防の指針として活用されています。

★暑さ指数21～25度が注意の目安です。(日本体育協会熱中症予防のための運動指針より)★



従来、熱中症は、多くは高温環境下での労働や運動活動で発生していましたが、最近では日常生活においても発生が増加していると言われています。

また、体温調節機能が低下している高齢者や、体温調節機能がまだ十分に発達していない小児・幼児は、成人よりも熱中症のリスクが高く、さらに注意が必要です。

今夏も電力供給不足に備えた節電対策の実施が推進されておりますが、一方で行き過ぎた節電は熱中症等の健康被害を引きおこす恐れもあるため、節電対策を行う際にも、熱中症予防に充分にご注意ください。

◆熱中症とは

体の水分と塩分の不足で起こります。症状により、熱疲労(軽度)、熱痙攣(中等症)、熱射病(重症)に分類されます。

初期の症状は、筋肉にけいれんや痛みを伴う症状があらわれます。症状がすすむと気を失ったり、吐き気などの症状があらわれ、さらに重症になると意識がはっきりせず、汗が止まって体温が著しく上昇し、最悪の場合、死亡することもあります。

◆熱中症になりやすい人

子ども、高齢者、肥満の人、体調が悪い人、二日酔いの人 など

◆熱中症の予防のために

- 1 暑い場所での長時間の作業、運動はできるだけ避けましょう。
- 2 スポーツドリンクなど、水分をこまめにとるようにしましょう。
- 3 体調が悪いときは、無理をしないようにしましょう。
- 4 外出時は、帽子などを着用し、できるだけ直射日光を避けましょう。
- 5 首元を冷やすタオルやスカーフ等、熱中症対策グッズを有効利用しましょう。

◆熱中症かな?と思ったら

- 1 日差しをさけて、涼しいところに移動しましょう。
- 2 からだが暑いときは、冷たいタオルなどで冷やしましょう。(うなじ、脇の下、太股の付け根など)
- 3 スポーツドリンクなど、水分をとりましょう。

以上のことができない時は、またはあまり調子がよくなる時は、**早めに医療機関を受診すること**をおすすめします。

詳しくは、[熱中症環境保健マニュアル\(環境省環境安全課\)](#)をご覧ください。

また、[環境省熱中症予防情報サイト](#)に「暑さ指数[※]」が掲載されていますので、当サイトをご参考に、熱中症予防に充分ご注意ください。

☆その他の熱中症関連サイト☆

[○熱中症を防ぐために～皆さまに取り組んでいただきたいこと～【厚生労働省】](#)

[○第1回熱中症対策に関する検討会【厚生労働省】](#)

[○職場における熱中症予防について【厚生労働省】](#)

[○健康のために水を飲もう推進運動【厚生労働省】](#)

[○学校安全Web 熱中症を予防しよう【独立行政法人日本スポーツ振興センター】](#)



◆徳島県は熱中症予防声かけプロジェクトにも賛同しています◆

みんなで声を掛け合い、熱中症を予防しましょう！

関連ワード

[熱中症](#)

お問い合わせ

健康増進課
健康推進担当
電話: 088-621-2736
ファクシミリ: 088-621-2841
E-Mail: kenkouzoushinka@pref.tokushima.lg.jp

[戻る](#)

| [個人情報の取り扱い](#) | [著作権](#) | [免責事項](#) | [お問い合わせ](#) | | [RSSについて](#) |

マダニが媒介する新しい感染症

(重症熱性血小板減少症候群)



皮膚に口器を刺入する
タカサゴキラマダニ

早期発見、早期治療が大切！！

問1: SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

問2: どのように感染するの？

SFTSウイルスを保有しているマダニに刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、ほぼ全国的に分布していることが分かってきました。

問3: どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なくすることが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られますが、他の防護手段と組み合わせてください。

屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか(特に脇の下、足の付け根、首、膝の裏、脇腹、頭髪部など)確認しましょう。

ペットなどの動物についていることもあるので気をつけましょう。

問4: もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関で処置してもらってください。刺咬された後1～2週間は、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診してください。

朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

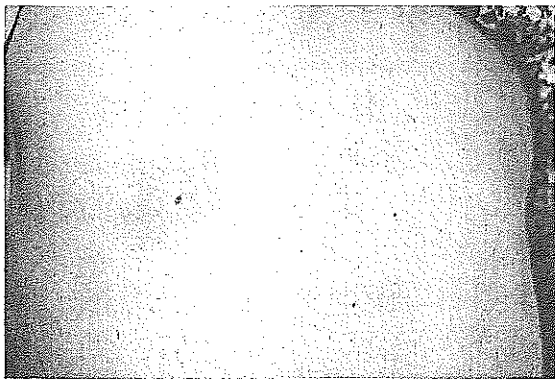
徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康増進課感染症・疾病対策室

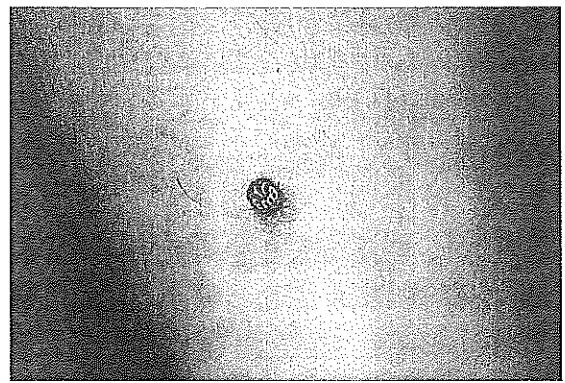
ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

		姓名				体重				kg				
ダニに刺された 月 日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日	
	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
体温														
41														
40														
39														
38														
37														
36														

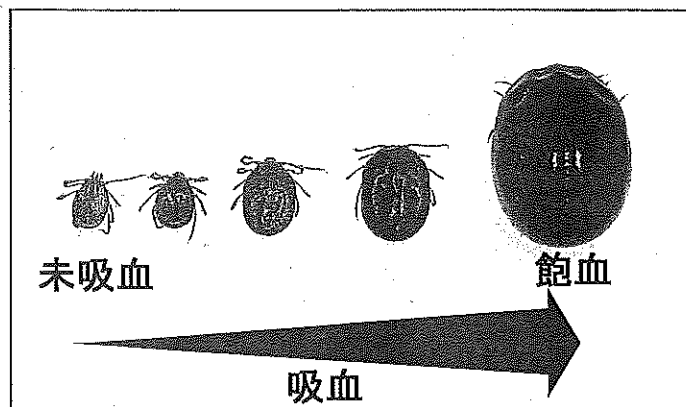
SFTSを媒介するマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



吸血すると3~15ミリ位に膨れる

(写真提供: 馬原アカリ医学研究所)